

祝園ミサイル保管庫建設反対集会と

交流会に参加して

高橋良平

全国各地で長射程ミサイル製造・配備とその保管施設の建設が進められるなかで、京都において長射程ミサイルの製造・保管・配備に反対する行動が行われた。以下簡単に報告します。

10月18日(土)京都和牛会館2F ホールで 14 時から 16 時 30 分まで「10・18全国交流集会」が開催された。主催は戦争とめよう！沖縄・西日本ネットワーク 10・19祝園全国集会実行委員会。全国からおもに長射程ミサイルの配備と保管庫の建設が進んでいる地域、そして関西圏の反基地、反演習運動を行っている市民団体が参加・発言した。



共同代表の呉羽真弓さんのあいさつ

基調報告はすべての基地に NO!を ファイト神奈川の木元茂夫さん。横須賀港における米軍の弾薬庫建設や、石垣港の自衛隊と米軍による拠点化の実態について報告があった。その後各地からの報告がなされた。特徴的だったのは滋賀県のあいばの演習場における演習反対運動の経過報告だった。あいばの演習場では、実弾演習の際ほぼ毎回演習場外への着弾や実弾の紛失が発生し、それを追及することで実弾演習が中止となったという。実弾演習がいかに危険であるか、と同時にしっかりと監視・批判したことが実弾演習中止に追い込んだ背景にあることが理解出来、運動の大切さを確認することが出来た。また石垣島、広島、大分、など各地からの報告を聞き、米軍との共同演習、自衛隊の演習が活発化し、かつ民間利用が進んでいることを知ることが出来た。

集会後は会場を別にして交流会が開催された。美味しいサムギョプサルに舌鼓を打ち、全国のみなさんと交流することが出来た。



10月19日(日)祝園にあるけいはんな記念公園で「私たちは二度と戦争をしたくない！平和でこそ文化は香り立つ！祝園全国集会」が開催された。主催団体は同実行委員会。1部コンサート、2部発言、3部パレードの構成で1日がかりの行動だった。私は1部から参加。ドンドン人が集まる様はなかなかの光景だった。コンサートではラップあり、ロックありフォークありと多彩な内容だった。2部発言では、地元からの発言として、学研都市で子育てをしているなかで、ミサイル保管庫はいらないし、地元の納得がないなかでは進めて欲しくないと率直な意見が表明された。近畿・関西中心に各地からの発言を受け、愛知からは山本みはぎさんが、長射程ミサイルが愛知で多く生産されていること、ミサイルの製造にも反対していきましょとアピールした。

第3部のパレードは公園周辺の住宅地を行進した。住宅地は一つ一つの家が大きく、とても閑静な住宅地だった。元気よくアピールして行進を行った。

この取り組みを通じて、今全国で「戦争準備」が急速な勢いで進んでいることが実感出来た。それとともに、愛知の地での長射程ミサイル製造に反対する必要性を強く感じた。愛知からも長射程ミサイル反対！三菱重工は長射程ミサイルを生産するな！の声をあげましょ！

